

みずほリポート

米大統領選とアジアへの示唆

みずほリサーチ&テクノロジーズ

2024年11月15日

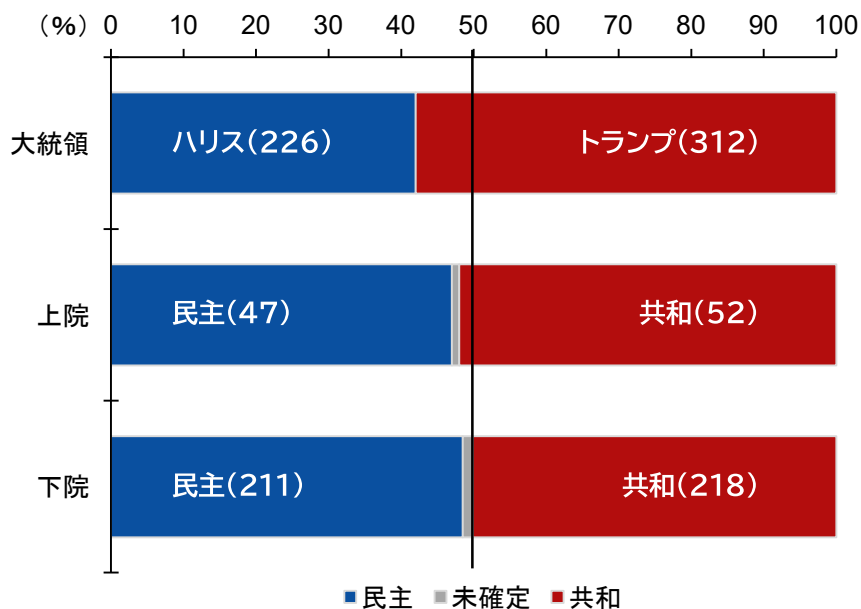
ともに挑む。ともに実る。



第二次トランプ政権、共和党主導の議会が誕生

- 2024年の米国大統領・議会選挙は、トランプ氏が次期大統領に就任、共和党が上下両院で過半数を獲得
 - ― 大統領選ではトランプ氏が勝利。上下院も共和党が多数派となり、トランプ氏の政策実行力は第一次政権より強化
- 政権始動までの間、各種政策の方向性・優先順位を読み解くには、3つのポイントが重要
 - ― ①政権人事：政府組織代表が指名され、政策の方向性を占う。極端な政策を志向する候補者もあり要注意
 - ― ②就任初日：就任演説とともに大統領令で一部の政策を実行。各種アジェンダの優先順位を見極める材料に
 - ― ③予算教書：連邦予算における大統領から議会への要求内容が判明。当面の財政政策の内容・規模を把握

2024年米国大統領・議会選結果(暫定)



(注) 11月15日時点の開票状況による

(出所) 各種報道より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

第二次トランプ政権始動までのスケジュール・要点

トランプ氏勝利

数週間内

ポイント①: 政権人事

- ・ 各種政策の方向性を占う重要な要素
- ・ 極端な政策を志向する候補者には要注意

2025年
1月20日

ポイント②: 就任初日の実行施策

- ・ 就任演説・初日の大統領令で、政権内における各種アジェンダの優先順位を見極め

2~3月

ポイント③: 予算教書

- ・ 当面の財政政策の内容・規模を把握

(出所) みずほリサーチ&テクノロジーズ(2024)“MHRT Global Watch 2024年11月12日号”より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

(参考) アジア各地域の反応: 祝意を示し、防衛や貿易・投資関係の強化を示唆

トランプ氏勝利に対するアジア要人の反応

日本 石破首相	Heartfelt congratulations to @realDonaldTrump . I truly look forward to working closely with you to further bolster the Japan-US Alliance & cooperate to promote a free and open Indo-Pacific (11/6、X) Had a very fruitful conversation with @realDonaldTrump, congratulating him on his election victory. I am convinced that the japan-US Alliance will be stronger with his strong leadership (11/7、X)
韓国 尹大統領	Congratulations to @realDonaldTrump ! Under your strong leadership, the future of the ROK-U.S. alliance and America will shine brighter. Look forward to working closely with you. (11/6、X)
台湾 頼総統	Sincere congratulations to President-elect @realDonaldTrump on your victory. I'm confident that, the longstanding #Taiwan-#US partnership built on shared values & interests, will continue to serve as a cornerstone for regional stability & lead to greater prosperity for us all. (11/6、X)
インド モディ首相	Had a great conversation with my friend, President @realDonaldTrump, congratulating him on his spectacular victory. Looking forward to working closely together once again to further strengthen India-US relations across technology, defence, energy, space and several other sectors. (11/7、X)
オーストラリア アルバニー首相	Congratulations to President Donald Trump on his election victory. Australians and Americans are great friends and true allies. Working together, we can ensure the partnership between our nations and peoples remains strong into the future. (11/6、X) Good to speak this morning with President Trump to personally congratulate him on his election victory. We talked about the importance of the Alliance, and the strength of the Australia-US relationship in security, AUKUS, trade and investment. I look forward to working together in the interests of both our countries. (11/7、X)
シンガポール ウォン首相	Congratulations @realDonaldTrump on being elected as the 47th President of the United States! I am confident that the US will continue to grow and lead globally. I look forward to taking our partnership to even greater heights. We hope to welcome you back to Singapore soon (11/6、X)

(参考) アジア各地域の反応: マレーシアはパレスチナ問題の解決を要望

トランプ氏勝利に対するアジア要人の反応

フィリピン マルコス大統領	President Trump has won, and the American people have triumphed. I congratulate them on their victory in an exercise that showed the world the strength of American values. We look forward to working with President Trump on a wide range of issues that will yield mutual benefits for two nations with deep ties, shared beliefs, a common vision, and a long history of working together. I am hopeful that this unshakeable alliance, tested in war and peace, will be a force for good, blazing a path of prosperity and amity in the region and on both sides of the Pacific. This is a durable partnership to which the Philippines is fully committed, because it is founded on the ideals we share: freedom and democracy. I have personally met President Trump as a young man, so I know that his robust leadership will result in a better future for all of us. Congratulation, President Trump! (11/6、Xおよび大統領声明文書)
マレーシア アンワル首相	Congratulations to @realDonaldTrump on his remarkable political comeback and victory in the US presidential election. This new chapter brings renewed opportunities, and we're ready to move forward with optimism, collaboration and shared purpose. The United States remains Malaysia's largest source of foreign investment and a vital player in the Asia-Pacific region. As ASEAN Chair in 2025, Malaysia hopes that America will reinvigorate its engagement with Southeast Asia. We also urge the US to use its considerable influence to help end the devastating violence and loss of life in Palestine and Ukraine. We look forward to working closely with the incoming president to foster mutual benefits for the people of both our nations. (11/6、X)
インドネシア プラボウォ大統領	My heartfelt congratulations to Mr. @realDonaldTrump for being elected as the 47th President of the United States of America. Indonesia and the United States are strategic partners who share a robust and multifaceted relationship. Our strategic partnership holds immense potential for mutual benefit, and I look forward to collaborating closely with you and your administration to further enhance this partnership and for global peace and stability. (11/7、X)
タイ ペートンタン首相	I wish to congratulate President Donald Trump @realDonaldTrump and Senator JD Vance @JDVance for the victory in the U.S. Presidential election. I look forward to working with you to advance Thailand-U.S. long-standing alliance for the benefits of our peoples and prosperity in the Indo-Pacific region. (11/6、X)
ベトナム トー・ラム国家主席	"He highlighted the positive outcomes of the Viet Nam-U.S. comprehensive strategic partnership over the recent past. Viet Nam is ready to promote the stable and long-term development of the bilateral ties for the sake of the two peoples, as well as for regional and global peace, cooperation, and sustainable development, affirmed the General Secretary." (11/11、電話会談に関する国営ベトナム通信報道より)

トランプ氏は米国の「経済的利益」を追求。高関税による他国製品の排除も辞さず

- トランプ氏はビジネスフレンドリーな政策を志向し、法人減税や輸入抑制による国内産業・雇用の保護を優先
 - ― 一方、国際協調への姿勢は後退し、NATO見直しやパリ協定離脱などを唱える

トランプ氏の主な政策・公約

財政	減税	・ 社会保障費、高齢者向け医療保険（メディケア）、国防費を維持し、移民や海外支援、気候変動への過剰支出を抑制 ・ トランプ減税の個人減税の恒久化、法人税の20%への減税 ・ 関税引き上げによる収入増を所得税減税の原資の一部とする ・ 住宅コストと自動車購入コストを下げるなどの生活費低減に取り組み、子供を育てやすくする
外交	「世界の警察」からの離脱	・ 米国第一の外交政策の復活 ・ ウクライナ紛争の停止。ウクライナ向けに提供した備蓄品の費用の払い戻しを欧州に要求 ・ NATOの目的と使命を根本的に見直し。軍事費負担が少ないNATO加盟国が攻撃を受けた際には防衛しないと発言 ・ 対外支援は返済義務が生じる融資に限定
関税・通商	中国製品・投資排除 輸入圧縮 国産化推進	・ ほとんどの外国製品を対象とした普遍的関税（10～20%）の導入 ・ 相互貿易法の創設 ・ 中国への依存を完全に排除：対中輸入関税を60%超に引き上げ、最恵国待遇の撤廃、重要品目の中国からの輸入を4年計画で段階的に廃止、米国企業の対中投資の阻止など ・ IPEFからの離脱（※脱退規定および脱退規定改正にかかる制限から、3年間は離脱不可能となる可能性）
移民	流入抑制	・ 大統領就任初日に国境を閉鎖し、何百万人もの不法低賃金労働者の流入を阻止 ・ 国境の壁の建設、米国史上最大の強制送還の開始 ・ 不法移民の子供への市民権の付与、旅券や社会保障番号の発行、福祉の受給を停止
環境 エネルギー	「脱炭素」の巻き戻し	・ パリ協定からの再離脱 ・ 米国が地球上のどの工業国よりもエネルギーコストの低い国であることを保証する国家目標を設定 ・ 原油・天然ガス・石炭生産者への減税 ・ バイデン政権の自動車GHG（温室効果ガス）規制、CAFE（企業平均燃費）規制の撤廃
その他	規制緩和ほか	・ ディープステートの打倒 ・ 新たな規制1つにつき既存の規制を2つ削減する大統領令を復活。連邦取引委員会（FTC）や連邦通信委員会（FCC）などの独立規制機関を大統領権限下に置く ・ 麻薬カルテルの壊滅、麻薬中毒問題の根絶

トランプ氏の掲げる産業・通商政策は、アジアにどのような影響を与えるか？

■ 経済的影響を考える上での主要な論点；

- － (1) 中国製品の締め出し、(2) 米国への生産回帰、(3) アジアへの調達シフト

トランプ氏の産業・政策方針とアジアへの影響：主要な論点

(1) 中国製品の締め出し

- ・ 中国製品の米国市場からの締め出しは、トランプ政権・共和党議会のもとで加速する見通し
- ・ 中国国内の需要停滞は中長期的に続く予想され、アジアには米国から締め出された中国製品の流入圧力が高まるリスク

(2) 米国への生産回帰

- ・ 米国内での製造は、主に人件費などの要因により、中国や東南アジアに比べて高コスト
- ・ 米国への生産回帰は、単価が低くコスト面での競争が厳しい汎用品は難しく、安全保障上の重要産業など一部にとどまる

(3) アジアへの調達シフト

- ・ 米国の財調達は3割近くを海外輸入に依存。中国製品への依存が低下するも、中国以外のアジア製品への依存が高まる
- ・ アジアにとっては、中国製品の締め出しが対米輸出拡大の機会に
- ・ ただし、普遍関税が賦課されれば、米国内のインフレを招き、米国内の需要減を通じてアジアの対米輸出拡大の恩恵が一部相殺されるリスク
- ・ ベトナム等対米貿易黒字が拡大している地域では、ディール外交の圧力が強まる可能性

(出所) みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

(1) 中国製品・投資の締め出しは、トランプ政権・共和党議会で加速する公算

- 対中政策では、中国製品流入規制・対米投資規制を強力かつ極端な政策で進める方針
 - ― バイデン政権では重要産業に的を絞り、半導体やEV産業を重点的に保護。一方、トランプ政権期の対中関税を維持するなど、中国製品の流入抑制や対米投資規制の大枠はトランプ政権から継承
 - ― トランプ氏は第一次政権にも増して、強力かつ過激な関税措置(60%関税、MFN除外)を掲げる

対中関連政策

対
中
政
策

バイデン政権のレガシー

- ✓ 第一次トランプ政権の対中追加関税の維持
- ✓ ハイテク製品の対中輸出規制、自動車用ソフトウェア、コネクテッドカーの中国製品輸入規制
- ✓ 半導体など重要産業への国内投資促進

強
力
／
極
端

トランプ氏／共和党

- ✓ 米国企業の対中投資を阻止
- ✓ 電子機器、鋼材、医薬品等の重要分野の輸入を4年計画で段階的に廃止
- ✓ 最恵国待遇(※)の停止
(※)WTO協定の基本原則。いずれかの国に対して与える最も有利な待遇を、他の全ての加盟国にも与える原則
- ✓ 輸入関税を60%超に引き上げ

(出所) 各種報道等より、みずほ銀行産業調査部作成

中国製品の迂回輸出に対する取締強化や、アジアへの中国製品流入はリスク

- 米国はアジアからの中国製品の迂回輸出に対する規制を強化。アジアに対しても取締り強化等の対応を要求
 - 2023年8月には、ASEAN発の太陽光発電製品に対して調査を行い、最終的に3カ国について迂回輸出と認定
 - 迂回輸出の認定製品はアンチ・ダンピング関税／補助金相殺関税(AD/CVD)が適用される(※)
(※) 関税免除措置が存在したが、2024年6月に失効済
 - 加えて、アジア各国(ベトナム等)に対しては、迂回輸出の取締り強化を要求し、外交面からも圧力
- 中国製品は、米国からの締め出しに加え、中国の内需停滞により、アジアへの流入が加速するリスク
 - 足元でも、鉄鋼等の品目でアジアへの対中輸入が増加し、現地企業の稼働率を圧迫しているとの声が高まる

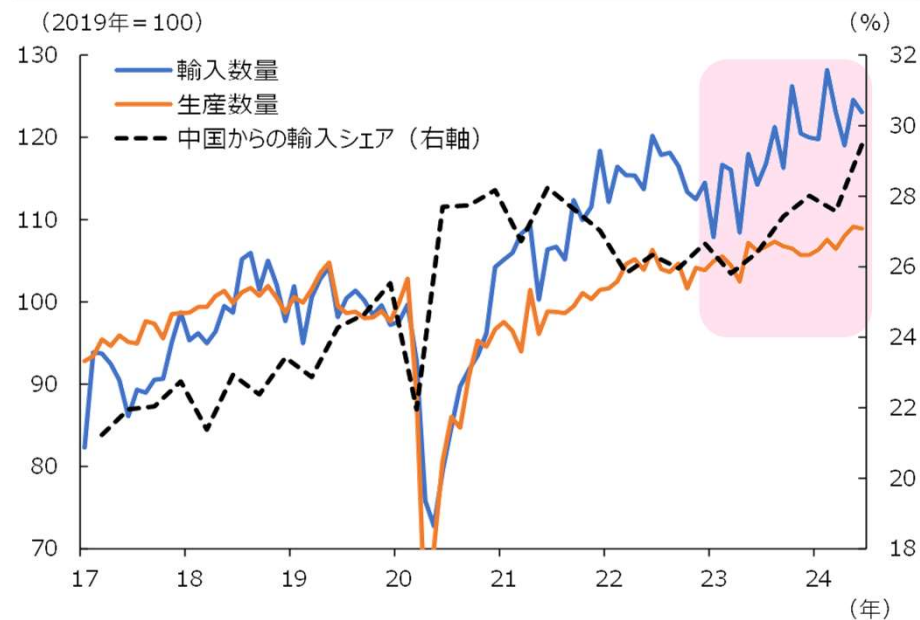
太陽光発電製品に対する迂回輸出認定(2023年8月)

輸出元	対象企業	審査結果
カンボジア	BYD Hong Kong	迂回認定
	New East Solar	迂回認定
マレーシア	Hanwha Q CELLS	非認定
	Jinko Solar	非認定
タイ	Canadian Solar	迂回認定
	Trina Solar	迂回認定
ベトナム	Boviet Solar	非認定
	Vina Solar	迂回認定

迂回認定の場合、
アンチ・ダンピング関税(AD)／補助金相殺関税(CVD)を賦課

(出所) JETRO、米国商務省より、みずほ銀行産業調査部作成

アジアの生産・輸入動向



(注) 輸入シェアは金額ベース(四半期データ)

(出所) オランダ経済分析局より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

(2) 米国内への生産回帰は、製造コストの高さから、一部の重要物品にとどまる公算

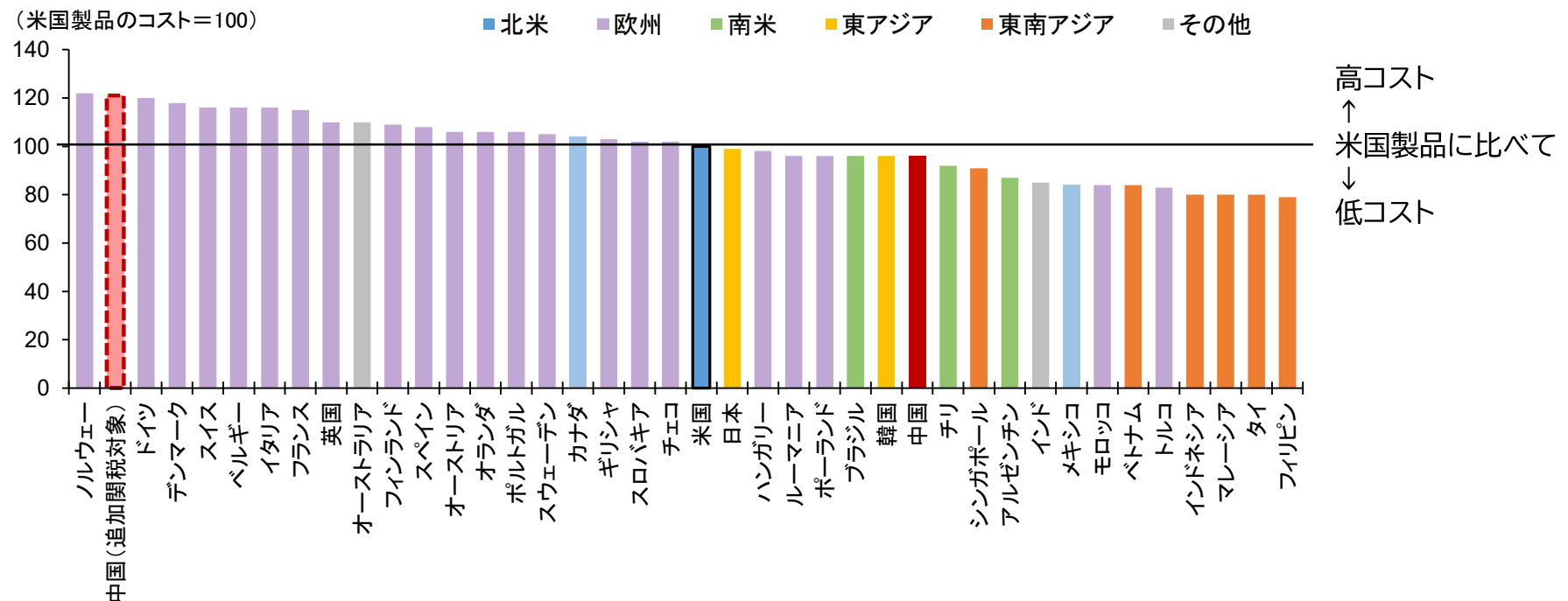
■ 米国での生産は東南アジアなどに比べて高コスト

- ボストン・コンサルティング・グループの試算(2023)によれば、米国製品のコストを100とした場合、中国(追加関税対象の品目を除く)や東南アジアの製品は、賃金水準などから生産コストが低位にとどまる

■ 米国国内への生産回帰は、規制や補助金政策が手厚い半導体などの重要物品にとどまる公算

- 米国企業にとっては、中国製品の代わりに米国内での調達を拡大させるより、労働力の安価な外国製品の調達を拡大させたほうが、価格競争力の維持につながる可能性が高いため

米国の調達財の生産コスト:生産国別

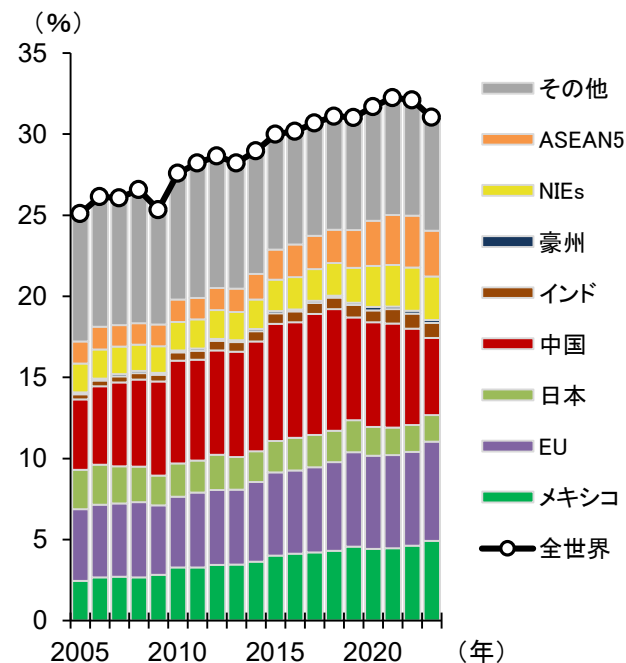


(注) ボストン・コンサルティング・グループ(2023)による推計値。関税、流通コスト、人件費、機械設備費、電力費、燃料費、その他土地費用等のコストを考慮したもの
(出所) Boston Consulting Group (2023) “Harnessing the Tectonic Shifts in Global Manufacturing”より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

(3) 米国市場からの中国製品排除は、アジアにとって対米輸出拡大の好機に

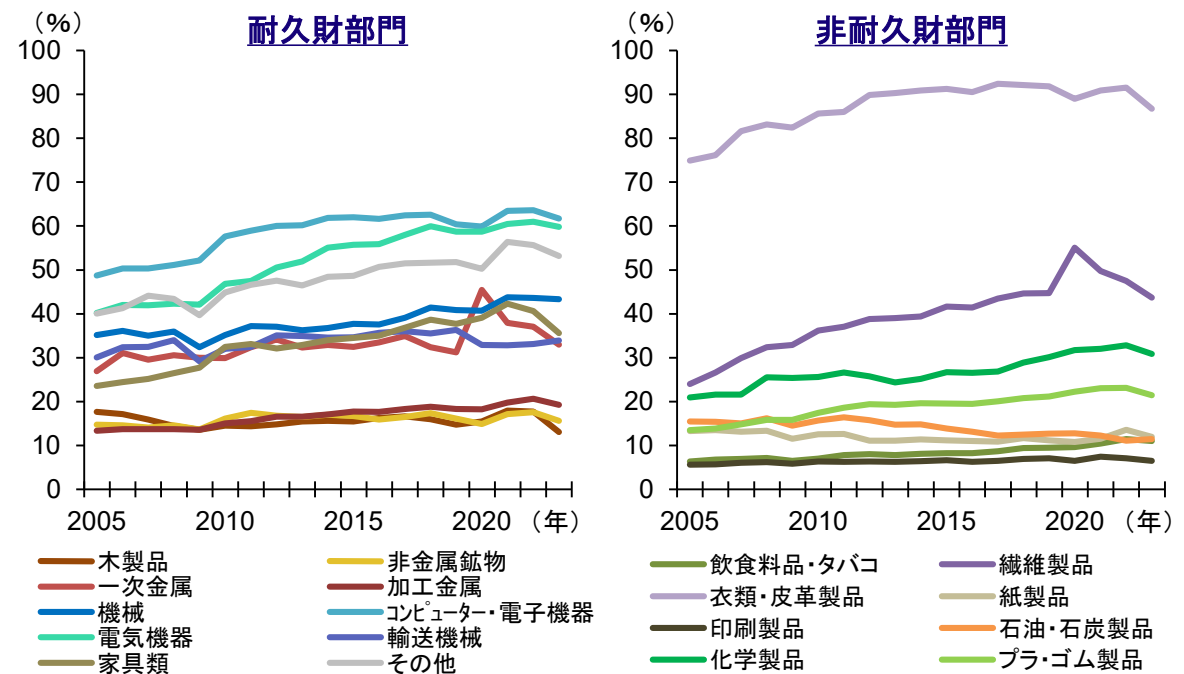
- 製造業の輸入浸透度(製造業製品の調達(※)における輸入比率)は上昇傾向。直近も3割程度を輸入に依存
 - 中国製品への依存度は2018年頃から低下し、入れ替わりでメキシコやNIEs、ASEAN5製品への依存度が拡大
 - とりわけ、衣類・皮革、繊維等の非耐久財、コンピューター・電子機器、電気機器等エレクトロニクスが高依存度
- 中国製品の排除を進めても、米国内への生産回帰・調達拡大がコスト面で困難な分野では、NIEsやASEAN5からの調達比率が高まる公算。アジアにとっては輸出拡大の恩恵に

製造業の輸入浸透度: 調達先別



(注) 輸入浸透度=輸入額/(生産額+輸入額-輸出額)として求めた。輸入は再輸出向けを除く金額
(出所) 米国商務省より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

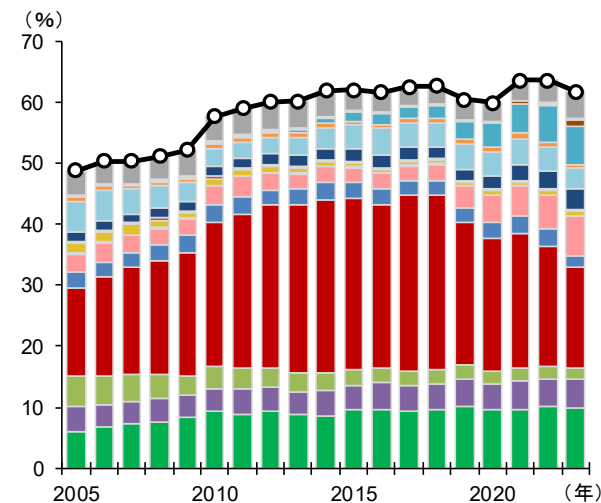
製造業の輸入浸透度: 産業別



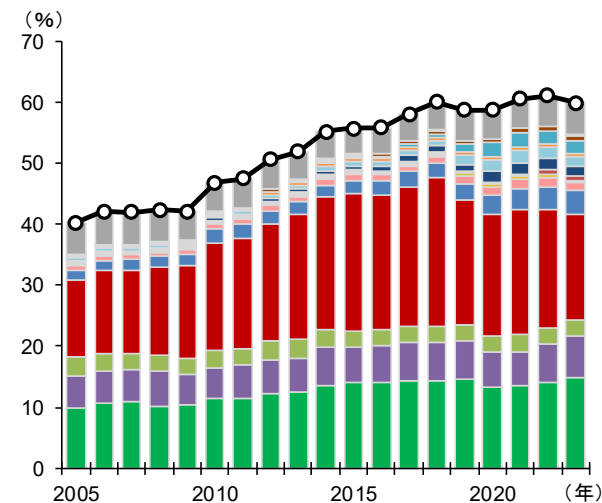
(注) 輸入浸透度=輸入額/(生産額+輸入額-輸出額)として求めた。輸入は再輸出向けを除く金額。業種分類はNAICS3桁ベース
(出所) 米国商務省より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

(参考)米国の財調達における輸入浸透度:主要産業

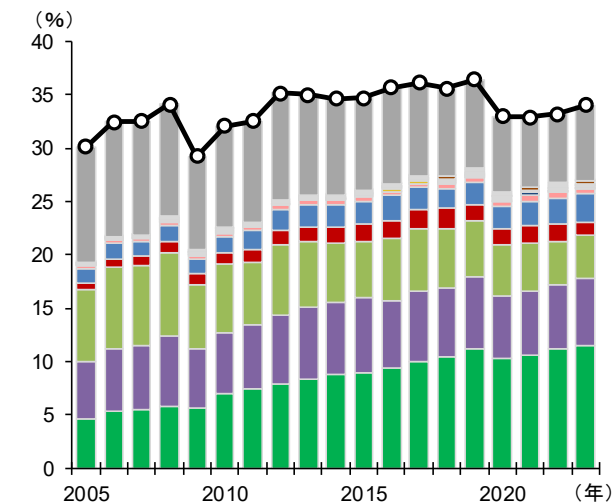
コンピューター・電子機器



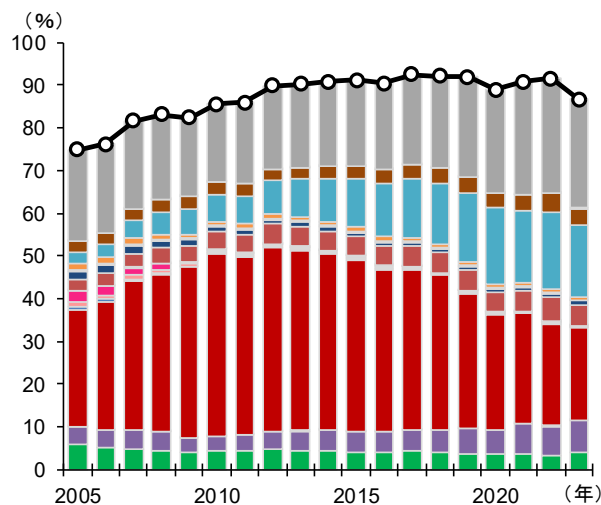
電気機器



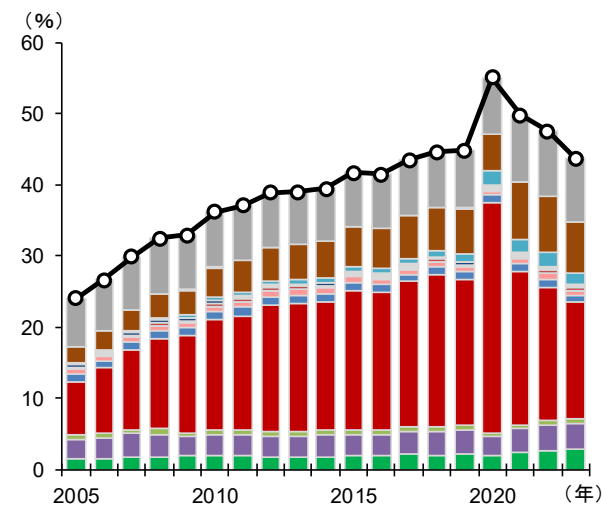
輸送機械



衣類・皮革製品



繊維製品

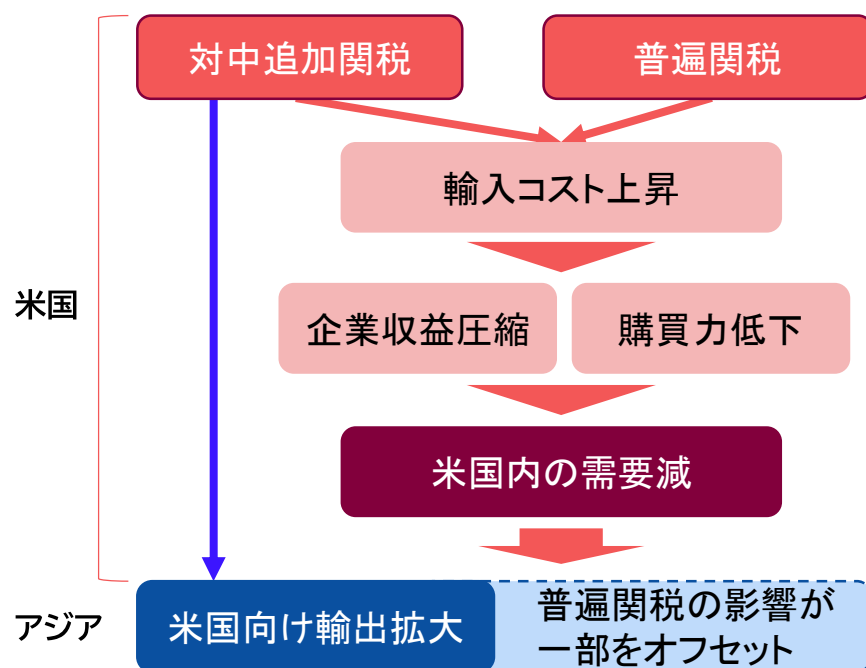


(注) 輸入浸透度=輸入額/(生産額+輸入額-輸出額)として求めた。輸入は再輸出向けを除く金額。業種分類はNAICS3桁ベース
(出所) 米国商務省より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

一方、普遍関税を導入すれば、米国の需要減少が、アジアの対米輸出に悪影響

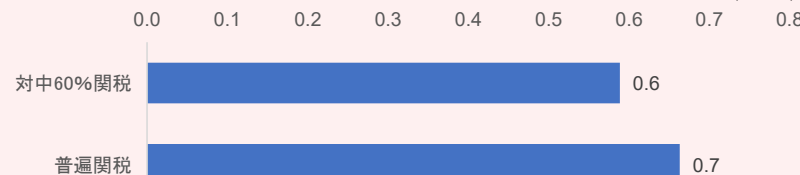
- トランプ氏は10～20%程度の一律輸入関税導入を掲げるが、米国経済には需要減少要因となる公算
 - 対中関税と異なり、普遍関税は調達先のシフトをもたらさず、海外生産者、または米国企業／消費者の負担に
 - 先行研究は、対中追加関税のコストは、製造拠点である中国ではなく、米国輸入業者の収益圧迫、または、価格転嫁により米国消費者の負担になったと指摘。普遍関税の導入も、米国内での負担増となる可能性
 - 米国側の負担になった場合、企業収益の圧迫や消費者の実質購買力低下など、米国側で需要減少要因に
- アジアにとって、対中追加関税は対米輸出を拡大させるが、その恩恵は普遍関税の影響で一部相殺

トランプ陣営の関税政策がもたらす影響

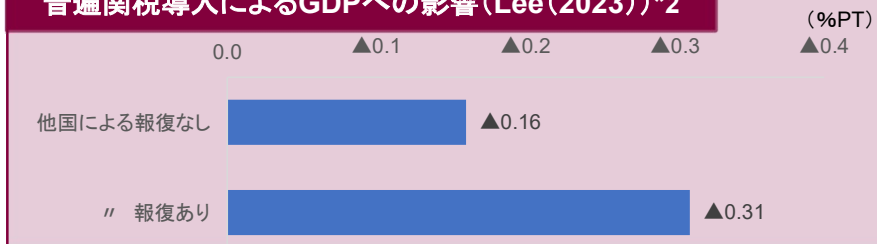


対中・普遍関税導入による物価への影響*1

輸入業者が関税コスト増をそのまま商品価格に転嫁すれば、、、 (%PT)



普遍関税導入によるGDPへの影響(Lee (2023))*2



(注) 1. 米国の全海外調達品価格が、中国: +40%(20%→60%)、その他の国: +7%(3%→10%)上昇した場合の消費者物価への影響を国際産業連関表により試算

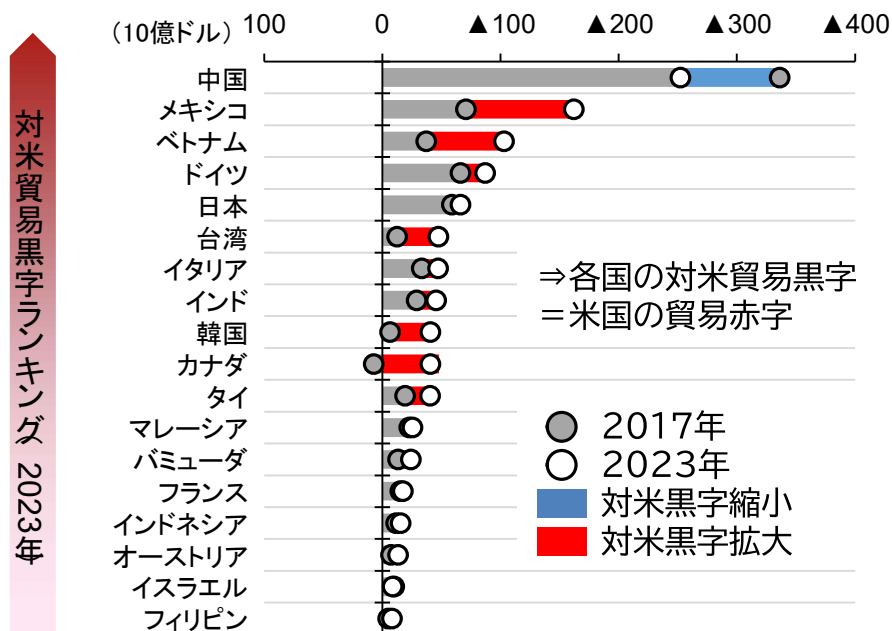
2. 経済への影響については、Lee (2023) "Trump's "Proposed 10 Percent Tariff: Considering the Impact"による試算

(出所) 松浦 (2024)ほかより、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

アジア各国は、対米貿易黒字を理由に「ディール」を強いられるリスク

- 中国製品締め出し、アジアへの調達シフトの結果、アジアの対米貿易黒字(米国の対アジア貿易赤字)はすでに拡大
 - ― ベトナムを筆頭に、台湾、インド、韓国、マレーシア等で対米貿易黒字が拡大
- トランプ氏は対米貿易黒字を敵視。第一次政権時にはベトナムを為替操作国に認定し、貿易黒字削減に向けた取り組みを求めるなど、アジアに対してディール外交を強いる公算が大
 - ― 実際、中国をはじめ、ベトナムやマレーシア、タイは米国製品の購入拡大で貿易黒字圧縮をアピール
 - ― ディールでトランプ氏が満足しない場合、為替操作国認定や関税等の制裁措置に発展するリスクも否定できず

対米貿易黒字(2017～2023年)



(注) 財・サービスを含む貿易総額

(出所) 米国商務省より、みずほ銀行産業調査部作成

米国製品購入・投資受入事例

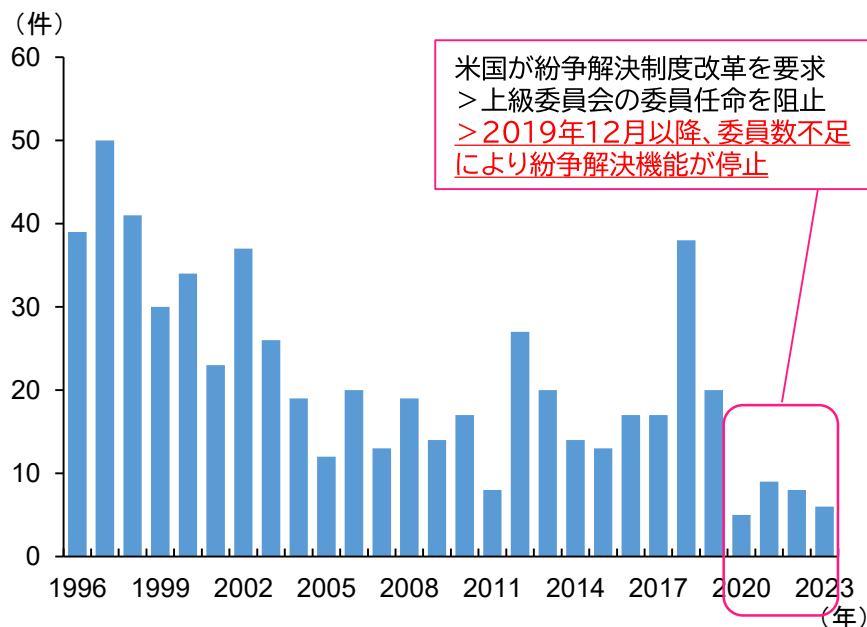
国	交渉材料
中国	- ボーイング製航空機購入(2017年) - ボーイング製航空機購入(2019年) - 米国産農産物の購入拡大(2020年)
ベトナム	- GE製航空機エンジン購入(2017年) - キャタピラーの発電管理技術導入(2017年) - LNG開発プロジェクト誘致(2019年) - ボーイング製航空機購入(2019年)
マレーシア	- ボーイング製航空機購入(2017年) - GE製エンジン購入(2019年)
タイ	- 地域コミュニティ共同開発(2017年) - 石炭購入(2017年)

(出所) 各種報道より、みずほ銀行産業調査部作成

米国第一主義の深化が、アジア各国の経済政策の内向き化を助長する可能性も

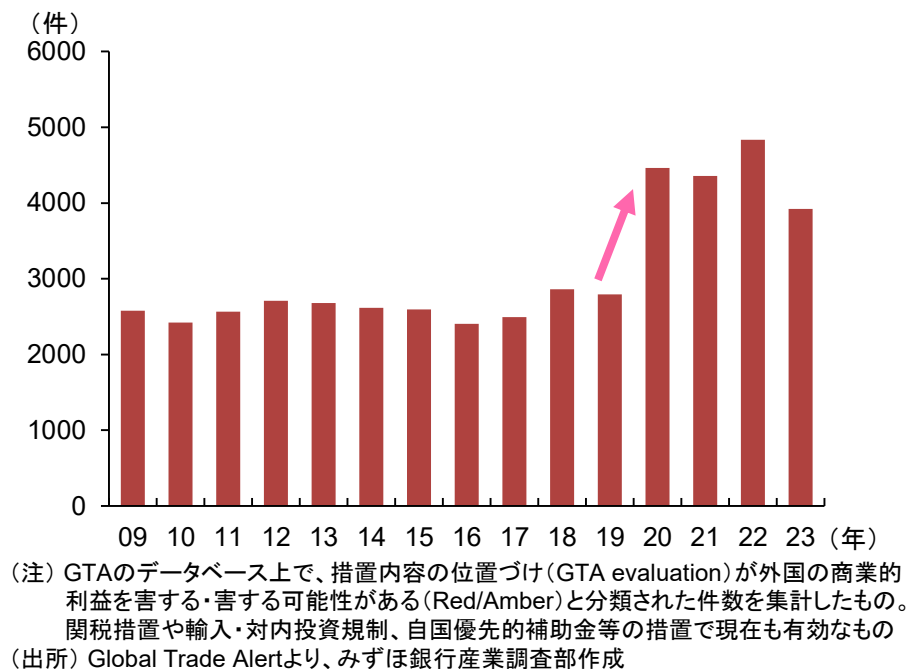
- 米国の自国第一主義の深化に伴い、貿易を巡る国際協調の機運は徐々に後退
 - 第一次トランプ政権期以降、米国によるWTO上級委員会の任命阻止により、WTOの紛争処理機能が大幅に低下
- 米国第一主義は、国際協調による保護主義政策への抑止力を後退させ、アジアの「内向き化」をも助長するおそれ
 - 貿易・投資に関わる政策介入は世界的にみて拡大傾向。従来より自国製品優先政策などがとられていたアジアでも、近年はインドネシアの資源禁輸措置など、露骨な保護主義的政策を志向する動きが発生
 - インドネシアの場合、EUなどが資源禁輸措置に反発している一方、WTOの紛争処理が機能しないことから、インドネシアがこれらの反発に束縛されない状況であると推察され、WTOの機能低下による内向き化を示唆

WTOの紛争処理(協議要請)件数



(出所) WTOより、みずほ銀行産業調査部作成

貿易・投資に関わる政策介入の件数



対中製品締め出しはアジアに恩恵。一方、普遍関税や迂回輸出取締りはリスク要因

第二次トランプ政権の方向性	「米国第一主義」的政策の推進
「内向き化」 自国第一主義	・ 対中高関税による中国製品締め出し ・ 普遍関税による米国の貿易赤字削減・国産化推進 ・ 米国企業による対中投資の阻止
変化・影響の要点	関税措置を中心に極端な通商政策を推進
(1)中国製品締め出し	・ 関税措置を駆使、強力かつ急激に進展 ・ 米国市場から追い出された余剰製品は、安価な製品としてアジアに流入
(2)米国への生産回帰	・ 米国内での生産コストは高く、一部の重要産業でのみ進展
(3)アジアへの調達シフト	・ 中国製品の締め出しが広範に及び、幅広い財でアジアの対米輸出が拡大 ・ 一方、中国以外の世界全体への普遍関税導入は、輸入コスト拡大を通じて米国経済にダメージ。調達シフトによる輸出拡大効果を一部相殺するリスク ・ 米国の自国優先主義は、WTOをはじめ国際協調の機運を後退させ、アジア自身の内向き化、保護主義的政策を助長する可能性

企業活動への
インプリケーション

- ・ 米国向け輸出に拡大期待。ただし、中国製部品を使用する製品の対米輸出は、輸出規制の対象となるリスクに留意が必要
- ・ 米国向け輸出拡大で貿易黒字が膨らむと(ベトナム等)、ディール外交の標的となる可能性。為替操作国認定・制裁関税等のリスクも否定できず
- ・ 中国のアジア進出や中国製品流入による競争激化が継続する公算
- ・ アジアの保護主義的政策が助長され、現地進出企業のサプライチェーンに負担を与える可能性

参考文献

- Boston Consulting Group (2023) “Harnessing the Tectonic Shifts in Global Manufacturing”, Sep 2023
- Lam Thanh Ha and Nguyen Duc Phuc (2019) “The US-China Trade War: Impact on Vietnam”, ISEAS PERSPECTIVE, Dec 6th 2019
- Lee, Tom (2023) “Trump’s Proposed 10 Percent Tariff: Considering the Impact”, American Action Forum, Nov 28th 2023
- 松浦大将 (2024) 「トランプ2.0で何が起こるのか？－懸念されるインフレ等への悪影響－」、みずほリポート、2024年2月27日
- みずほリサーチ&テクノロジーズ・みずほ銀行 (2024) 「米大統領選を受けた経済・産業への影響～国民の「内向き化」が招く米国第一主義の帰結とは？～」、MIZUHO Research & Analysis no.30、2024年10月18日

YouTube®動画「MHRT Eyes」を、より分かりやすくリニューアル！

複雑さ、変化の激しさを増す経済・金融動向…
エコノミスト・コンサルタントが旬な情報を
5分程度の動画でクイックに解説

MHRT Eyes

MHRT Eyes

週次版

日本経済をどうみるか

—2024年は緩やかな回復基調の見通し—

MIZUHO

みずほリサーチ&テクノロジーズ

MHRT Eyes

週次版

金利・為替見通し（4月）

—日米のインフレ動向・金融政策に注目—

MIZUHO

みずほリサーチ&テクノロジーズ

リニューアルして配信中！！

より分かりやすく、クイックに。毎週金曜日定期配信(週次版)でお届け

(定期配信に加え、タイムリーな情報も随時配信)

多数のエコノミストが国内外の注目トピックスを網羅

YouTube®動画で手軽に素早くインプット

(QRコードはデンソーウェーブの登録商標です)



コンテンツ拡大中！>>>>

ご視聴・チャンネル登録お待ちしております！



みずほリサーチ&テクノロジーズ

公式YouTube®にて配信中

(「YouTube」はGoogle LLCの登録商標です)



エコノミスト・研究員

30名以上で幅広い分野を網羅



PCの方は

<https://www.mizuho-rt.co.jp/solution/analysis/economist/index.html>



調査レポート（無料）

経済・金融動向を解説



<https://www.mizuho-rt.co.jp/publication/report/research/index.html>



メールマガジン（登録無料）

レポート・動画配信をいち早くお知らせ！



ご登録はQRコード®をスキャンして頂くか、
ブラウザから下記URLを入力してください。

<https://www.mizuho-rt.co.jp/publication/mailmagazine/research/index.html>

お問い合わせ：

みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社

調査部 メールマガジン事務局

<03-6808-9022>

<chousa-mag@mizuho-rt.co.jp>

〔本資料に関する問い合わせ先〕

みずほリサーチ&テクノロジーズ 調査本部
調査部付 みずほ銀行 産業調査部アジア室 出向

主任エコノミスト 田村 優衣

TEL: +65-6805-3991

E-mail: yui.tamura@mizuho-cb.com

Copyright © みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社

本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、取引の勧誘を目的としたものではありません。本資料は、当社が信頼できると判断した各種データに基づき作成されておりますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。本資料のご利用に際しては、ご自身の判断にてなされますようお願い申し上げます。また、本資料に記載された内容は予告なしに変更されることもあります。なお、当社は本情報を無償でのみ提供しております。当社からの無償の情報提供をお望みにならない場合には、配信停止を希望する旨をお知らせ願います。